（病院ホームページ掲載用）
審査番号　E2023-0100
（広島大学疫学研究倫理審査委員会中央一括審査）

研究課題名	膵癌危険因子の拾い上げによる膵癌早期診断を目指した病診連携の取り組み
研究期間	2023 年 10 月 20 日　～　2030 年 12 月 31 日
研究の対象	2022 年 11 月 10 日～2028 年 12 月 31 日までに当院で膵癌の危険因子を有する症例。 膵癌家族歴、飲酒歴、喫煙歴、糖尿病、腫瘍マーカーの上昇がある方、また腹部超音波検査などによって膵臓に異常を認めた方が対象です。
研究の目的	膵癌は 5 年生存率がいまだに低い悪性腫瘍で、膵癌の予後の改善には早期診断が重要です。しかしながら、日本膵臓学会による膵癌登録報告 2012 によると、Stage 0（上皮内癌）の患者数は膵癌のなかで 1.7%、Stage IA（癌が 2cm 未満で、膵臓内にとどまり、リンパ節転移のない症例）は 4.1%であり、膵癌の早期診断は容易ではありません。膵癌の早期診断が困難な理由として、早期診断された患者さんのうち 75%は無症状であることが挙げられます。その中でも健診や膵臓以外の通院や経過観察中に見つかることが多い傾向にあります。本研究は、広島県医師会と共同で開業医と広島大学病院を含む中核施設が連携し、膵癌診療ガイドラインに基づいた膵癌の危険因子で無症状の患者さんの拾い上げを行うことで、広島県の膵癌の切除率、予後の改善につなげるため、この研究を計画しました。
研究の方法	本研究は，当院の診療録（カルテ）情報を調査して研究主機関である広島大学で解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：身長、体重、年齢、性別、生活歴、血液検査結果、画像検査結果、治療内容、予後等を用います。
外部への試料・情報の提供	当院から広島大学への情報提供はパスワードを設定したエクセルをメール送信します。
個人情報の保護	広島大学に情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	【研究代表者】 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学　教授　岡志郎 【当院の研究責任者】 JA 尾道総合病院　副院長・消化器内科　花田敬士

申請番号　2023-31
施設長許可 2023 年 10 月 20 日

	【共同研究機関（当院含む）】 広島市民病院　平尾謙 県立広島病院　佐々木民人 広島赤十字・原爆病院 南智之 安佐市民病院　　行武正伸 JA 広島総合病院　　藤本佳史 国立病院機構東広島医療センター　岡崎彰仁 国立病院機構呉医療センター　山口厚 呉共済病院 野間文次郎 中国労災病院 毛利輝生 済生会呉病院 神垣充宏 広島記念病院　江口紀章 済生会広島病院　杉山真一郎 三原赤十字病院　寺面和史 県立安芸津病院　飯星知博 市立三次中央病院　栗原啓介 庄原赤十字病院　服部宜裕 福山市民病院　植木亨 福山医療センター　野間康宏
その他	利益相反なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。
	JA 尾道総合病院 担当者：消化器内科　花田　敬士、清水　晃典、津島　健 〒722-8508　広島県尾道市平原 1 丁目 10-23 電話番号：0848-22-8111